

就職見学や就職を検討されている方へ

対象疾患と班別リハビリの体制

各班によるリハビリテーション

病棟の特性にあったリハビリテーションを提供するため病棟ごとの班体制を取り入れています。

一般病棟班	R棟班	外来班
<ul style="list-style-type: none"> 主任 リーダー サブリーダー PT OT 	<ul style="list-style-type: none"> 主任 リーダー サブリーダー 回復期PT・OT・ST 療養病棟PT・OT 	<ul style="list-style-type: none"> 主任 リーダー サブリーダー PT OT

一般病棟班

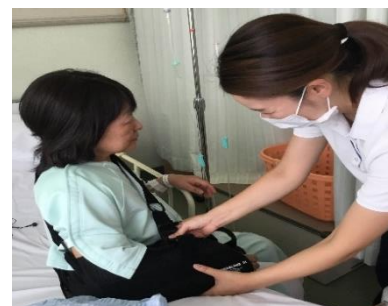
救急搬送患者を受け入れ、整形外科手術後や内部疾患など急性期治療が必要な方が多く、主治医、看護師と連携し十分な安全管理をしながら、早期の積極的なリハビリを行っています。

R棟班(回復期・療養病棟)

脳血管疾患や大腿骨頸部骨折など急性期治療を脱してもなお、リハビリが必要な方をサポートします。多職種で連携し疾患により低下した心身機能向上や日常生活能力の再獲得を支援します。在宅復帰に向けて、家屋調査や家族指導を行います。

外来班

通院の患者様を中心に、整形外科疾患、脳血管疾患の退院後のフォローアップ、インソールの作成や、肩外来、小児のリハビリも行っています。



手術翌日からリハビリ介入

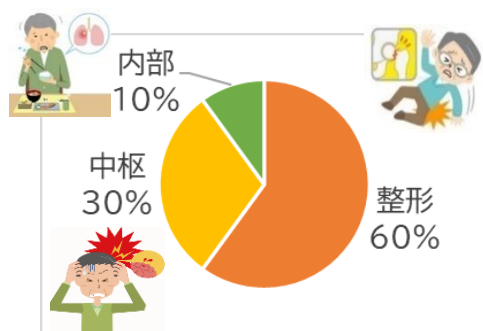


家事動作練習



インソール作製

対象疾患



整形疾患: 大腿骨近位部骨折

腰椎圧迫骨折、

肩腱板断裂術後、橈骨遠位端骨折、

変形性膝関節症、足関節外果骨折、

腰部脊柱管狭窄症、腰椎椎間板ヘルニアなど

中枢疾患: 脳出血、脳梗塞、くも膜下出血など

内部疾患: 心不全、尿路感染、心筋梗塞、肺炎、敗血症など